2019 年度　愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3205073	教育実習 Practice Teaching	久保田英助・安江真由美 前田治・（　　）	専門	4	選択	3 年　後期

科目の概要

教育実習は、実際に園児・児童や教職員とふれあうことを通して、幼児・児童を知り、幼児・児童を心身共に健やかに保護育成するための保育・教育の本質を理解し、学内で学んだ理論と技能を統合化しながら、教師としての実践的な能力や使命感、保育精神を修得することを目的としている。なお、学内での事前・事後指導については、「教育実習指導」として、別に1単位設けられている。

学修内容	到達目標
①実際に園児・児童や教職員とふれあうことを通して、幼児・児童を知り、幼児・児童を心身共に健やかに保護育成するための保育・教育の本質を理解する ②学内で学んだ理論と技能を統合化しながら、教師としての実践的な能力や使命感、保育精神を修得する	①実際に園児・児童や教職員とふれあうことを通して、幼児・児童を知り、幼児・児童を心身共に健やかに保護育成するための保育・教育の本質を理解することができる ②学内で学んだ理論と技能を統合化しながら、教師としての実践的な能力や使命感、保育精神を修得することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる
	働きかけ力	目標を達成するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる
	計画力	計画通り進まない時は、計画を見直し修正できる
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現できる
	傾聴力	人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる
	情況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって努力できる
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、活動が円滑に進行するようルールを守ることができる
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	失敗したときやプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる

テキスト及び参考文献

参考文献
幼稚園教育要領・小学校学習指導要領・小学校学習指導要領解説（各科）

他科目との関連、資格との関連

幼稚園教諭免許及び小学校教諭免許に関わる全て科目
幼稚園教諭免許・小学校教諭免許

学修上の助言	受講生とのルール
これまで学習してきた保育・教育に関する科目を復習するとともに、パネルシアター、手遊び、ピアノ、教材研究等の準備をしておくこと。また、これまでの学外活動の事前指導として受けた内容、事後の感想や反省を思い起こし、役立てようとする姿勢が不可欠である。実習を行ったその日の記録を丁寧に書くことで、一日の振り返りを行うとともに、次の目標を考える姿勢が不可欠である	積極的な実習態度、節度と責任をもった行動が不可欠である 欠席はもちろん遅刻・早退も厳禁である。 毎日の実習日誌や学習指導案など、実習校での提出物の期限を厳守すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	90	①	✔	・実習校園での活動だけでなく、事前の準備や毎日の記録への取り組み、反省点をすぐに生かそうとする姿勢が評価対象となる(とても意欲的 90・意欲的 80・さらに意欲的な取り組みを期待する 70)
		②	✔	
		③	✔	
		④	✔	
		⑤	✔	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	・実習生として、責任を持った態度で実習を行うことが評価対象となる。 ・記録をまとめ、提出することも授業態度としての評価対象となる。 (主体性)実習にまじめに取り組む姿勢を何より評価する。 (働きかけ力)自分一人ではできないとき、指導担当の先生の指導を受けるための声かけができる。 (実行力)幼稚園教諭・小学校教諭になるための課題について最後までやりきることができる。 (課題発見力)幼稚園教諭・小学校教諭になるための課題について自分なりに疑問を見つけることができる。 (計画力)記録や指導案の提出など、期日を守って提出することができる。 (創造力)幼稚園教育・小学校教育の在り方について自分なりの考えを持つことができる。 (発信力)必要な時に、意見を述べたり、発表したりできる。 (傾聴力)子どもや指導担当者の意見への同調や疑義を表明できる。 (柔軟性)指導や助言を受け、適切に自身の考えを修正することができる。 (情況把握力)子どもたちの中で自分ができることを考え、指導担当者と協力して活動することができる。 (規律性)提示された課題や問いかけに真摯に取り組む姿勢、場をわきまえた授業態度、期限を守って課題を提出する姿勢を評価する。 (ストレスコントロール力)責任実習・研究授業などで失敗したりしても、次への良い学びだと考え、気持ちを切り替えて行動することができる
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
今後の自分の課題や、幼稚園教諭・小学校教諭になるにあたって必要な課題に積極的に取り組もうとする姿勢が持てる 実習校園からの評価をもとに児童・園児に対して実際の動きの中で意欲的な取り組みが充分にみられる場合にS(秀)と評価する。	これまでに学んできた保育・教育の科目の復習や準備を行い、誠実な態度で実習に望み、毎日の実習に真摯に取り組むことができる

週	学修内容	授業の 実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1回 から 15回 まで	実習校の定める実習計画に則って実施される。 一般的には、実習の始まる1～2週間ほど前に、実習校に召集され、事前指導を受ける。 2～3週間にわたる実習期間中は、園長・校長・教頭の指導講話に始まり、観察→参加→実習という形で順次進行し、最後に研究授業で締めくくられる。 また、部分実習・責任実習・学習指導のみならず、特別活動・生徒指導・道徳教育・総合的な学習の時間の指導なども随時行われる。	実習	各校長による成績評価を最大限尊重するが、実習日誌や研究授業指導案やレポートなどを見て、大学において総合的に評価する	毎日の準備が予習・復習の連続である。真剣に取り組むこと。	900	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性　ストレスコントロール力